

たわわ

TAWAWA

地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2013年7月30日

133号

NPO法人

「地域で生きる障害者を支える会」

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991

## 変化をとらえ さらなる一歩を！



暑中お見舞い申し上げます。お変わりなくお過ごしでしょうか !!

“ものみな萎れる夏の日盛り、木々を渡る風のそよぎ 私の好きな季節・・・”

そんな気持ちは変わらないのですけれど...

ここ数年の気候の変化は、あまりにも激しすぎ、少しこたえますが、  
身近な地域福祉の世界もいろいろあって、夏は活動的な季節です。

みなさまには、この夏もお健やかに過ごして下さるようお祈りいたします。



### 平成25年度第1回総会報告 ①

6月24日(月)活動ホームしもだにて、25年度の総会が開かれ、24年度の事業報告並びに決算報告、25年度の事業計画及び予算案について審議、承認されました。

活動の報告については、毎号の通信でお知らせしておりますが、書式に沿って簡単にご報告いたします。

NPO法人「地域で生きる障害者を支える会」には ①特定非営利活動に係る事業と ②その他の事業(チャリティーコンサートなどの収益を得る事業)があります。

24年度は②についてはおこなわれませんでした。

尚、県民税・市民税については、申請の上減免が認められました。

#### 事業報告

1. グループホームの運営支援事業、会計事務の担当
2. 障害者の地域生活支援事業、グループホームへPT(理学療法士)の派遣による支援など。在宅者家族へのレスパイト支援、余暇支援
3. 障害者に関する地域啓発、地域交流会等の企画実施事業
  - a. TAWAWA通信の発行、TAWAWA増刊号7(B5版500冊)の発行
  - b. 写真・パネル展の実施(24.7.23~28 於:ギャラリーかれん)
  - c. グループホーム新吉田町地域交流バザーの開催準備、実施支援
  - d. 活動ホーム「しもだ」地域交流事業への参加
4. 相談ピアカウンセリング事業

#### 5. 障害者の地域生活に関する調査研究事業

- a. 見学会(重度障害者グループホーム)戸塚区の歩む会グループホーム
- b. 学習会(グループホームの制度や現況等)

#### 家族会の活動

毎週月曜日の定例会(家族会議、学習会、手作りの会など)

#### 会計報告について

収支計算書、貸借対照表、財産目録、予算書等については、ご請求いただければ、お送りいたします。

尚、25年3月31日現在の会員数は、正会員20人、賛助会員131人、団体会員5件、(会費収入は476,000円)です。

また、基本的な活動は、会費収入、事業の助成金、寄付金などで賄えるように努力しております。役員報酬および日常的な行動費・人件費は会無しです。

今後の発展的な運営のために、会員やご協力者を増やしていただけるよう、ご協力をお願いいたします。毎年ご入会(ご入金)いただいた方についてお名前をお知らせして参りましたが、匿名を希望される方は、その旨お知らせください。

#### ご入会、ご継続ありがとうございます

— 6月7月分(敬称略・順不動) —

#### 【会員】

阿部八重子 高村てつ子 古田 節子 鈴江 美博 匿名希望者

#### 【賛助会員】

小川 喜道	清宮 一恵	志村 鈴代	飯田 静子	森 芳春	神代 孝子
齊藤 和代	金子留美子	丸山 洋子	新井奈津美	松本 直子	新井 洋一
下野 正夫	下野 芳子	下野 一夫	下野 節子	萬治 進	萬治 敏子
楠戸 滋夫	楠戸 エミ	阿部 太二	仲鉢 伸	山田 秀夫	赤瀬 福子
福島 綱子	片野 芳昭	荒木 明美	尊田 勝美	白川田倫代	白鳥千代子
計屋 珠江	岡本美知子	前田美津江	磯村 博子	松永 重年	高島 幸子
石渡 和実	宇賀持てる子	小泉 寿子	小栗 芳久	小栗久美子	有田多恵子
戸川 慶建	直井真紀子	高田美智子	栗原 紀子		

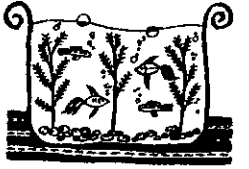
#### 【団体賛助】

パナホーム株式会社 新吉田地区社会福祉協議会

#### おたより

◇いつも「TAWAWA」を拝見しながら、その時々々の課題について教えていただいています。今後ともよろしくお願ひします。 岡本美知子様

◇“たわわ”毎号うれしく拝読(勢津子さんの俳句も)近年そちらに何う体力がなくなり残念です。どうか皆様お元気で 小泉寿子様





## めがねの声

◇重度障害者が安心して暮らすということ...

この前活動ホームで、横浜市の障害者あんしん施策の「障害者後見的支援制度」の説明会がありました。(注・成年後見制度とは別です)

障害のある人が地域で生涯安心して暮らせるためにという制度です。

障害者が登録すると、地域の人や作業所の職員が生活を見守り、定期的に訪問して相談に乗ってもらう制度です。将来どう暮らしたらよいかを一緒に考え、支援する法人などにつなげます。また、その計画がうまくいっているか、点検もします。

「何でもお話しできる人ができていい」と言うお話でした。障害者が自分の考えていることを出し、親も一緒にこれからのことを話すと聞いて、私もいい事だなと思いました。

でも、私は少し思いました。何を聞くのかな、何をどう話せるのかな...

\* \* \*

“あんしん”して暮らすということとは、みんな違うかもしれないと思います。

皆は、おいしい食べ物をずっと食べられたり、ずっと楽しく暮らすことができればよいと思っっているかもしれません。親たちも、私も、そう思っはいるけれど、もっと細かく毎日のこととなると、私は少し違います。

たとえば、私が一番困るのは、文をつづる事、言葉を表すこと、人とコミュニケーションがとれるかどうかということです。細かい気持ちの大切なことは、なかなか難しい。長いことかかって、今、少しずつ伝えられるようにはなりました。でも、障害があるので大切な文を直すことや、普段でも洋服を探すなどということになると、母と2人でなければ伝えられない。こんな状態を、とても、ずっと心配しています。

病気でいえば、風邪です。たんが絡んで来たらどうするか。喉もどの程度の痛みなのか。診察をして病院で出してくれる薬も、他の人たちにはよい“痰を緩めて出す薬”が、逆にゆるめて増える痰を処理できなくて苦しんだり... 熱が出れば絶対安静になるのです。

このように毎日の細かいことは、計画や相談や報告やこの制度で安心になっていくとは、考えられない。周りにたくさんの“知っている人”“心までわかってくれる人”がいることが大切なことだと思います。

私は、たまたま いろいろな会に入っていたり、何人かの知り合いや友だちがいます。親もいますし「相談したいな」と考えることはできます。それなので私も頑張ってこれたと思います。生活は毎日つづきます。機械やパソコンを買うのとは、ちがいます。

\* \* \*

前にも書いたかもしれませんが、例えばグループホームにも、毎日短い時間でも、ずっと同じ人が見てくれば、体調のことや、生活の様子がわかって、話がつながっていくのではないかと思います。(いまは、毎日泊まるスタッフがちがいます)。

そして、職員たちもできるだけ“安心して”長く勤めてほしいです。

それが、いまグループホームに暮らしている重度障害者の私の願いです。

大原 友子

## 今月のよつばホーム&第2よつばホーム

### 毎年恒例のバーベキュー♪

先月、よつばホームの庭でバーベキューをしました。バーベキューは毎年恒例となり、年々役割分担も自然と出来てみんな段取り、手際が良くなってきます♪

山田さん、章子さんはスタッフと共に野菜のカット、阿部さんは買い出し、次郎さんは玉ねぎ皮むき、勢津子さんは野菜のカットや三角おにぎりをつくり、浩人さんはもやしのひげとりと三角おにぎり作ってくれました♪

花岡さんは俵型?のおにぎり作ってくれます。

仕込みも終わり、バーベキューの始まり始まり~(ー~)

焼き担当は、超ベテラン『燃える男』のヘルパー小泉さんと、『期待の大型ルーキー』榎くんが奮闘してくれました。

肉、野菜、焼きそば、焼きおにぎりなどが香ばしく焼き上がりました。

絶好のバーベキュー日和のなか、みんな、モリモリとほうばってました。

スタッフの皆さん、お疲れ様でした。 \ (^o^)/

### みんなお花好き♪

先日、地域の方にお声をかけていただき園芸教室へ参加してきました♪

まずまずのお天気の中、勢津子さんと花岡さんが参加しました。

指導してくださる方の説明をしっかりと聞いて、早速作業に取り掛かります♪

まずは鉢に土を入れます。車いすからの作業は困難ですが、スタッフの手助けも借りながら説明通りに作業します。

次に植えるお花を選びます。勢津子さん、花岡さん、それぞれ個性的な好みのお花を選んでました。o(^▽^o)

そのお花はよつばホームの玄関に今日もきれいに咲いています☆ 入居者の帰りを待っているかのように♪

\* \* \*

活動ホームしもだの余暇活動になりますが、毎月勢津子さんと友子さんが『お花の会』に参加しています。グループホームに帰宅するとヘルパーさんたちに手伝っていただきながらお花を活けます♪

毎月違うお花を活けていますので、とても季節を感じます。今月のお花もいい感じに活けてます♪

